

こまがね

# 市議会だより

2022.1.20  
12月定例会  
No.92



特集 = 駒ヶ根市議会事業評価 =  
市に対して**要望・提言書**を提出!



新年の  
ご挨拶

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
また、日頃は議会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
今年も市民の皆さまと積極的に意見交換をさせていただき、  
よりよい市政運営に反映できるよう市議会一丸となって取り組んでまいります。  
一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、  
皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

駒ヶ根市議会議長 小林敏夫



13人が登壇!  
一般質問

P6~P13

特集 ..... P2~P3  
委員会審査報告 ..... P4~P5  
議案等審議結果 ..... P14  
市民と議会の意見交換会 ..... P15  
こども未来会議(中学生議会) .. P16



市議会  
ホームページ





## Ⅹ 児童福祉のための提言



**子育て中の親子が孤立しないよう、地域や支援機関とさらなる連携強化を**

- ▶子育て支援センターの利用について、土日祝日開所の検討を
- ▶「子育て全力応援宣言」をしているので、全庁的に安心して子育てができる支援体制を

## Ⅹ 子育てのための提言



**子育て家庭の悩みを聞き、課題解決に取り組むこと**

- ▶安心して子育てができるための情報提供や相談業務の充実を図り保護者の心身負担軽減を
- ▶子どもの生活困窮、児童虐待などの早期発見・対応のために、アウトリーチ型の支援方法も模索すべき

## Ⅹ 自立支援のための提言



**行政と社会福祉協議会との連携が重要。相互人事交流も含め考えるべき**

- ▶「誰でも気兼ねなく支援を受けてよい」という情報提供や啓発について、積極的に発信を
- ▶さまざまな要因を抱える生活困窮者支援に、専門人材配置の検討を

## Ⅹ 社会福祉のための提言



**今後の超高齢社会に対応できる人材育成などの課題を見直すべき**

- ▶従来の「申請による対応」のみならず「出向いていく対応＝アウトリーチ」に積極的に取り組むべき
- ▶地域を巻き込むために、官民地域が集まってワークショップ・対話を続けること

駒ヶ根市議会

検索

「要望・提言書」の詳しい内容は、駒ヶ根市議会ホームページからご覧いただくことができます。



スマートフォンの方は  
こちらから

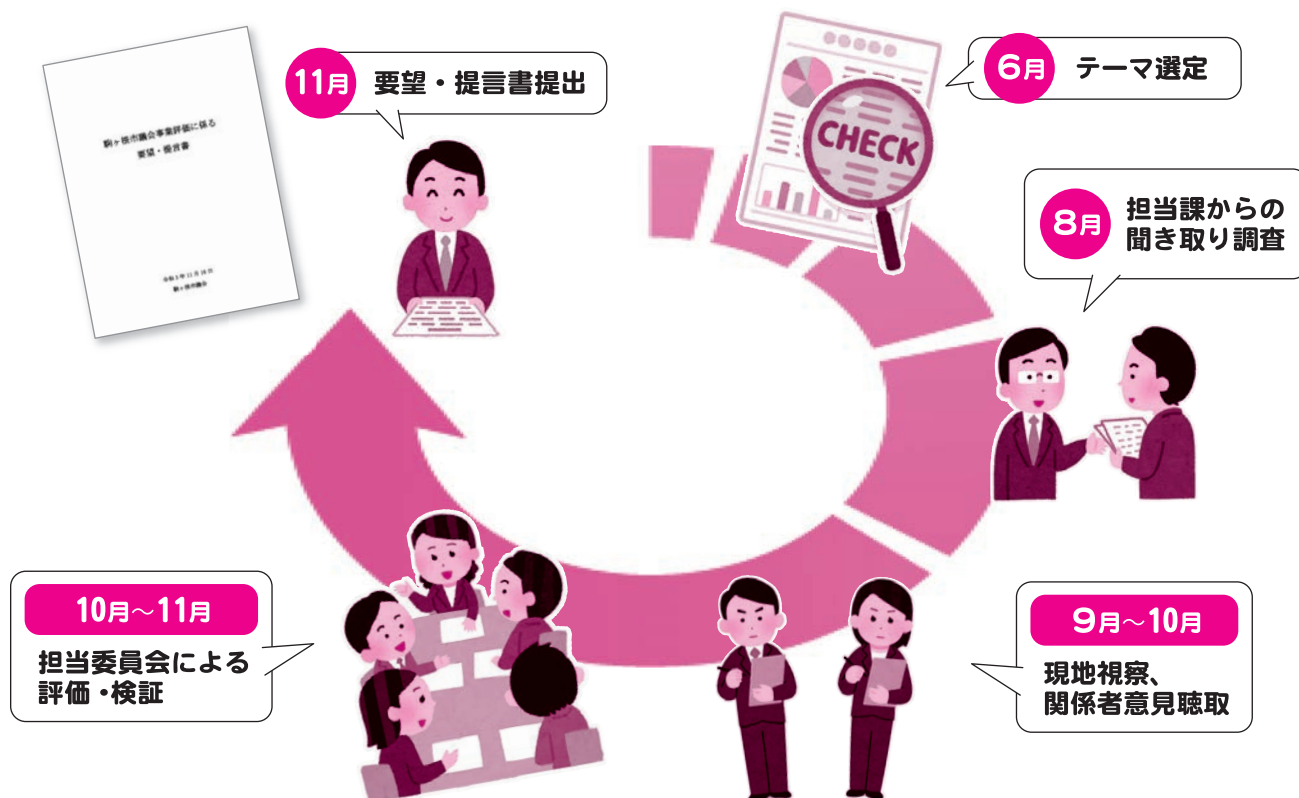


# ＝ 駒ヶ根市議会事業評価＝ 市に対して要望・提言書を提出!

駒ヶ根市議会では、市が実施する事業の評価を行っています。

今年度は、農業・観光・子育て・福祉などをテーマに、6月から11月にかけて担当課からの聞き取り調査、現地視察、関係者からの意見聴取などを行い、11月16日市長に対し、評価結果や今後の方向性などをまとめた要望・提言書を提出しました。

今回は、提言した6項目の概要をお知らせします。



## ✂ 農業振興のための提言



### 公設地方卸売市場の見直しに向けた調整を

- ▶施設の維持更新および競争力の確保が課題
- ▶市場事業費を他の農業振興策や地産地消推進事業などへ転換を

## ✂ 観光振興のための提言



### 地域一体となった観光振興の推進体制の再構築を

- ▶観光振興の地域づくりの長期計画策定や観光協会などの行動目標を定め、目標に向かって協働する体制づくりを
- ▶市民が興味を持つ観光化を図り、滞在時間延長に結びつくアイテム・魅力づくりを



## ▶委員会審査の主なもの◀

## 総務産業委員会

12月13日・17日に開催した総務産業委員会では、新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算をはじめ、駒ヶ根駅前ビル市民交流活性化センターの指定管理者の指定、駒ヶ根市檜尾小屋条例など、4件の議案を審査しました。  
審査議案の主な内容と質疑をお知らせします。

提出された議案は、本会議で直ちに採決する場合がありますが、より詳しく審査するため、所管の委員会に付託し、委員会として賛成・反対を決定します。



1

### 農業者・宿泊施設事業者・交通事業者に 原油価格高騰による支援を実施

新型コロナウイルス感染拡大により打撃を受けている事業者が原油価格の高騰によりさらなる経営悪化が懸念されるため、影響を受ける農業者・宿泊施設事業者・交通事業者に対し支援します。

#### ○農業者

施設型農家に対して面積に応じて5～30万円支援

#### ○宿泊施設事業者

宿泊定員数に応じて5～25万円支援

#### ○交通事業者

車両台数に応じて10～30万円支援

**問** 対象となる農業経営者及び支援額は。

**答** 花き・いちご・野菜・きのこを生産している35経営体が対象。11月下旬に行った対象農家の調査を踏まえ、およそ1リットル当たり20円高の急騰に対し、10円程度の支援となる。

<議案第76号 駒ヶ根市一般会計補正予算(第10号) 予算額:1,335万円>

2

### KOMAGANEスプリングフェスティバルを開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さまざまな制約にご協力いただいた市民の皆さまに喜んでいただけるよう、来春(令和4年3月5日)にイベントを開催します。

==== 会場と予定されている内容 =====

【駒ヶ根ファームス】牛乳パン・チーズケーキまつり、イトウオーキング、ゆるキャラ大集合他

【中心市街地】こまぜミ、アルパまつり、テイクアウトパーク他

【シルクミュージアム】ハンドクラフト体験、レストラン菜々ちゃん特別企画他

上記の他、3会場をつなぐスタンプラリーを実施

**問** コロナ禍で疲弊しているのは中心市街地の飲食業である。駒ヶ根ファームスやシルクミュージアムとの連携により中心市街地が活性化されるようなイベントにしてほしい。

**答** 市産業部を中心に、商工会議所、駒ヶ根ファームス運営協議会、市民団体などと連携し、一緒に盛り上げていきたい。

<議案第68号 駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号) 予算額:285万円>

3

### 中央アルプス「檜尾小屋」オープンに向け 管理条例を制定

中央アルプス檜尾岳頂上近くの「檜尾小屋」のオープンに向け、管理方法や開設期間、利用料金、利用ルールなどを定めた条例を制定します。

**問** 檜尾小屋では携帯電話の通話が可能か。

**答** あまり電波状態は良くない。来年の開設に向けて増幅アンテナを設置する予定である。

**問** 指定管理者(管理人)公募の考え方は。

**答** 地元の山岳関係者や中央アルプス地区山岳遭難防止対策協会の皆さんと密に連携が取れる方ということが条件になる。山小屋に入るスタッフの方も含めて提案をしていたく予定である。

<議案第74号 駒ヶ根市檜尾小屋条例>



檜尾岳から南アルプスを望む



完成した檜尾小屋



## ▶委員会審査の主なもの◀

# 教育民生建設委員会



12月14日・17日に開催した教育民生建設委員会では、駒ヶ根市国民健康保険条例の一部を改正する条例をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算、市道路線の認定など、8件の議案を審査しました。  
審査議案の主な内容と質疑をお知らせします。

1

### 遠隔手話サービスで聴覚障害の意思疎通を支援

コロナ禍でも聴覚障害者が安心してコミュニケーションが図れるよう、支援体制を強化します。タブレット端末5台を購入し、長野県の遠隔手話システムを活用し、病院などに手話通訳者が同席しなくとも遠隔で手話サービスが受けられるようにします。

問

タブレット端末を使用した遠隔手話サービスとはどのようなものか。また、どのような利用を想定しているのか。

答

Wi-Fi環境が整った場所で使える。通訳を受ける方はタブレットを持って出かけていただき、手話通訳者は自宅などから手話通訳を行う。手話サービスは現在、病院、学校のPTA作業や授業参観などで利用されている。導入後は、災害時の避難所である小学校5校での活用も見込んでいる。



### 遠隔手話通訳の仕組み

感染症の拡大防止や災害時などの緊急時において、離れた場所から手話通訳サービスが受けられるよう、長野県の「遠隔手話通訳システム」を活用し、ビデオ通話による通訳を受けられるようになります。

<議案第68号 駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号) 予算額:37万円>

2

### 新型コロナウイルスワクチン、3回目接種へ

2回目のワクチン接種から原則8カ月が経過した18歳以上を対象に追加接種が始まります。

mRNAワクチン(ファイザー社およびモデルナ社製)を1回追加接種するものです。

問

ワクチン接種のスケジュールは。

答

医療従事者への先行接種後、3月から4月にかけて65歳以上の高齢者から接種を始める。65歳以下への接種は5月以降となる予定。接種に向け、市内医療機関と検討・調整していく。

問

予約方法はどうなるのか。

答

これまでと同様な体制。電話予約(コールセンター10回線)、おまかせ予約、インターネット予約、予約サポートで受け付ける。

<議案第68号 駒ヶ根市一般会計補正予算(第8号) 予算額:3,410万円>

3

### 18歳以下の児童に臨時特別給付金支給

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みとして、子どもたちを力強く支援し、その未来を開く観点から、0歳から18歳までの児童を対象に、1人当たり10万円の給付を行うもので、そのうち5万円を先行して迅速に支給します。

問

支給対象者数とその内訳は。

答

概ね4,800人。そのうち中学生以下が約3,900人、高校生が約900人である。

問

年内に現金一括給付も可能か。

答

年内に5万円の支給を行う体制で取り組んでおり、今からの年内一括給付は難しい状況である。

<議案第75号 駒ヶ根市一般会計補正予算(第9号) 予算額:2億4,563万円>

# 市政を問う

## 一般質問

今回、13人の議員が  
一般質問を行いました！



### 一般質問

議員が市政について自由に質問することです。質問内容は「通告書」により締切日までに提出します。



### 詳しくはHPへ

各議員のQRコードから  
YouTubeの録画動画を  
ご覧いただくことができます。

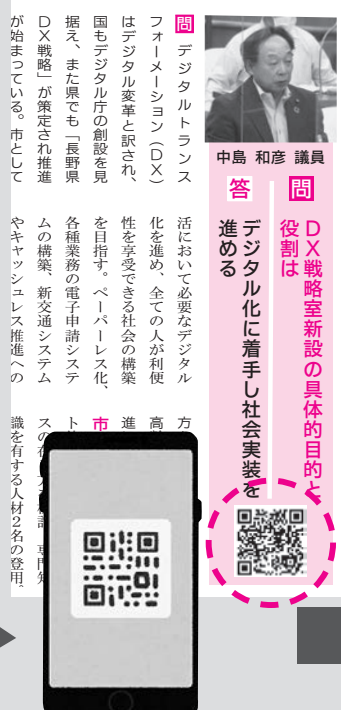
### 質問時間は30分

一人当たりの質問時間は  
30分。答弁時間は含みま  
せん。30分を超えて質問  
することはできません。

※一般質問は、エコーシティー・駒ヶ岳でも放送しています。一般質問項目の内容が、全て記事になっているとは限りません。

各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、YouTubeから一般質問の様子が視聴できます。パソコンで視聴される場合は、「駒ヶ根市議会」で検索後、「一般質問録画中継」からご覧ください。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。）

①QRコードをカメラや  
アプリなどで読み取り  
ます。（お使いの機種に  
よって操作方法が異な  
りますのでご注意ください。）



②画面に表示されたURLを選択すると議  
員の一般質問ページ(YouTubeページ)  
が表示され動画が始まります。





《一般質問項目》

- 塩澤 康一……………
- 「牛乳パンの日」を制定できないか ●松くい虫被害は
  - グリーンスローモビリティは市民の足になるか
  - 学校体育館は避難所にもなるが雨漏りの修繕は
- 氣賀澤葉子……………
- 駒ヶ根バスターミナルを市の玄関口として整備しては
  - 少子化対策が効果を上げるには視点の転換が必要では
- 加治木 今……………
- 福祉と防災の組み合わせで有効的な地域づくりは
  - DXの取り組みの目標と進め方、財政への影響は
  - 子ども交流センターの維持に予算の確保は
- 小原 晃一……………
- 自然災害およびコロナ禍での農業被害の現状と支援は
  - 災害時の水道水・電力の安定供給の対策と課題は
- 中島 和彦……………
- ポストコロナを見据えた新たな観光振興への対応は
  - 地域の魅力発信の担い手観光（歴史）ガイドの養成は
  - 医療費抑制となる歯科健診、受診率が低いが対応は
- 池田 幸代……………
- 効果的な重層的支援体制整備事業実施に向けて
  - 駒ヶ根市の女性職員の雇用環境の底上げは
  - 地域防災の担い手をどう増やすのか

- 松崎 剛也……………
- 天竜川水域の治水と防災の考えは
  - デジタルアーカイブ推進の考えは
  - 文化施設、スポーツ施設の現状と課題は
- 宮下 稔……………
- 協働のまちづくりさらに推進するには ●DX推進、取り組み状況と今後の方針は ●保育園、幼稚園の耐震化推進について ●グリーンスローモビリティ実証実験の評価は
- 三原 一高……………
- 来年度予算の基本方針を問う
- 竹村 知子……………
- 子育て全力応援宣言は子育て世代のニーズに沿った施策か
  - 中高生との語り合う会での意見は
  - 子宮頸がん予防ワクチン接種の取り組みは
- 竹村 誉……………
- 原油価格高騰に伴う支援策は ●米価下落の独自補助は
  - J A上伊那東伊那店、生活店舗閉店への対応は
  - 子育て全力応援を推進する施策の充実は
- 小原 茂幸……………
- スマート農林業への取り組みは
  - コロナ禍での人づくりについて
  - コロナ下にある協働のまちづくりについて
- 中原 茂之……………
- 介護予防事業の充実を図る事について
  - 市民後見人制度の取り組みについて



赤穂高校生と津具屋製菓による産学官の取り組みで作った牛乳風味パンケーキ（右）と、人気アニメ「ハイキュー!!」及川徹の好物が牛乳パン（左）

**問** じゃらん「全国発売してほしい！ご当地パンランキング」で牛乳パンが6位。牛乳パン生みのまち宣言から2023年で5周年。県内で愛され続け全国区になりつつある。「牛乳パンの聖地・駒ヶ根」にできないか。

**市長** これまで牛乳パン生みのまちとしてPRしてきた。誕生秘話を作成しエコミの中で検討する。

**問** 生みの親中坪兼吉さんの誕生日、6月27日を「牛乳パンの日」に制定は。

**市長** 今後、取り組みを進める中で検討する。

**問** 栗林地区で有人へりに



塩澤 康一 議員

**問** 「牛乳パンの日」を制定できないか

**答** 今後取り組みを進める中で検討する



質問動画はこちらから

**問** グリーンスローモビリティは二次交通として市民の足となる可能性はあるか。

**市長** 低速で、中長距離を結ぶ生活交通としては不向きであると考えます。

**問** 小学校の体育館で雨漏りがある。災害時の避難所にもなるが補修は。

**教育長** 原因が特定できないことが多いが、安全確保のためにも対策を講じたい。



閉鎖されたままの  
待合室の入り口

駒ヶ根バスターミ  
ナル  
昼でも暗く、訪れ  
た方を歓迎できて  
いないのでは



**問** 高速バスターミナルの伊那バス窓口が閉鎖されて1年以上が経過。周辺は閉鎖されたホテル・店があり、訪れた方を迎えるには、環境整備が早急に必要では。

**市長** 11月に着任した地域おこし協力隊員と協力して、中心市街地活性化の視点から、周辺整備に必要なものを検討し進めていく。

**問** バスターミナルに待合室の機能が復活するように駒ヶ根駅にある市民サービスコーナーを商工会議所1階に移転しては。

**市長** 行政文書を取り扱うためプライバシーへの配慮が必要。移転は考えない。

**問** 結婚相談支援が主な施策とした現在の少子化対策の視点を転換しては。

**市長** 少子化の原因はさまざまであり、子育て環境の整備や子育てに優しい労働環境の検討など、結婚相談に限らず多くの分野にまたがった取り組みを進める。

**問** 少子化対策に、男性の育児休業取得、およびワークライフバランスの推進を入れてはどうか。

**市長** 男性が妊娠・出産・育児の不安と喜びを分かち合うパートナーとして意識を高めていけるよう、政策の策定を進めていく。

**問** 女性が生き生きと暮らせ、ふるさとに帰りたいと思えるような施策の推進は。

**市長** 地方都市にとって女性の動向は非常に重要な観点。現在策定中の第5次総合計画では、少子化対策・子育て支援を重点プロジェクトに位置づけて取り組む。



氣賀澤 葉子 議員

**問** 訪れる方を歓迎できるバスターミナルか

**答** 商工会議所の意向が大事  
当面見守る



質問動画はこちらから

地域の通いの場  
にはご近所のこ  
とを知る女性の  
参加が多い



防災のことを漫才で伝える防災漫才はわかりやすく面白い  
あらゆるところで防災の視点を伝える意識を

**問** 防災では情報を伝えやすくすることや女性の参画が求められている。福祉の通いの場や認知症のサロンなどで防災の啓発を取り入れ、福祉と防災が結びつく福祉防災の推進をしては。

**市長** 今回新たに策定する地域福祉計画でも日々の生活や活動の中で生まれるつながりを防災活動や災害な

どの緊急時に活用すること  
をうたっており、福祉防災は推進していく。

**問** DXの取り組みは連携したわかりやすい行政サービスを可能にする。当市の目標と進め方は。専門知識を持つ人材育成への考え方は。財政への影響は。

**市長** 目標はデジタル化を進めることで、市民、観光



加治木 今 議員

**問** 福祉の場に防災の取り組みは

**答** 日々のつながりを防災活動に活用する



質問動画はこちらから

客の皆さんが利便性を享受できる地域社会をつくること。行政DXと地域DXに分け対象事務の洗い出しをしている。現在2人のDXマネジャーが職員の研修をし今後は外部からの人材招聘や民間へのアウトソーシングなど対応していく。国の補助金も適切に取り入れ行政財政改革につなげたい。

**問** 働く親が安心して児童を預けられる子ども交流センターは女性が活躍するためには重要な施設。過密になる時もあるが工夫して児童のためになるよう運営している。働き手の確保、施設面見直しのためなど予算の確保が大切だが見解は。

**教育長** 広さは当面はこのまま利用し、子育てに関する予算を維持していくよう懸命に取り組む。







地域防災行動を楽しく学ぶための下諏訪町の防災士コンビの防災漫才

**問** 来年度から生きづらさや複合的課題や困難を抱える市民を地域の官民の福祉機関全体で支える新事業「重層的支援体制整備事業」がスタートする。「断らない相談窓口」や「出向く相談体制」などを実施するに当たり市長の意気込みは。

**市長** 昨年度から事業実施に向け研修などでスキルアップを進めてきた。これまでに以上に踏み込んだ対応が必要とされるため新事業は担当課だけに任せず、市役所での役割分担を進め、地域全体の福祉力を高めたい。

**問** 出向く相談体制Ⅱアウトリーチはどこが担うのか。

**市長** 来年度に向けて委託先を検討中。

**問** 駒ヶ根市では幹部職員に女性が少なく女性の部長が誕生したことがない。また、非正規雇用の会計年度任用職員は女性が8割だ。コロナ下で女性の雇用悪化が懸念される昨今、地域で女性が長く働き続けられかつ生活できる賃金を得られるような雇用環境の整備は。

**市長** 女性幹部職員を増やすことは人事上の最重要課題の一つ。会計年度任用職員が育児休暇などを取れるよう改善されたが、不利益が生じないよう配慮続ける。

**問** 外国籍住民や自治会未加入住民も防災訓練に参加しやすいとする方策は。

**市長** 外国籍住民の防災に関するキーパーソンの存在を育成したい。アパート居住者などに向けて準自治会員の仕組みを各地区で検討していくことも必要。



池田 幸代 議員

**問** 「断らない相談窓口」に向けた整備は

**答** 地域福祉計画に盛り込み福祉力高める



質問動画はこちらから



天竜川の治水のために、三峰川上流の戸草ダム建設推進を！

**問** 防災上、天竜川の治水において三峰川上流に位置する戸草ダムの建設は必要と考えるが市長の考えは。

**市長** 戸草ダム建設は必要。伊那市長が会長で私が副会長の促進期成同盟会で関係機関に要望をしている。

**問** 夏の大雨時、下平区丸塚公園のトイレが水没し困ったが、対策は出来ないか。



松崎 剛也 議員

**問** 天竜川防災で戸草ダム建設推進の考えは

**答** 伊那市長や関係機関と連携し推進する



質問動画はこちらから

**市長** 丸塚公園は冠水想定し整備。トイレの移設やさらなる対策は考えない。

**問** 市内の天竜川支流の整備要望に対しての考えは。

**市長** 河川管理者に要望し、地元調整と整備促進に努める。国県と連携し対策する。

**問** デジタルアーカイブは歴史資料保存から地域活性化、防災にまで役立つ。市での推進の考えは。

**市長** 令和5年から明治期の一部資料をデジタル化。有効性を考慮して可能な範囲で取り組んで行く。

**問** 未契約の公共施設ネーミングライツ（命名権）の現状は。市長の営業活動は。

**市長** 現状応募がない。1月より提案型ネーミングライツを実施。今後営業する。

**問** スポーツ・文化施設の改良修繕等の判断は明確か。

**市長** 人命に関わる修繕優先。文化会館は来年度老朽化調査し大規模改修を準備。

**問** 赤穂公民館の職員は人数不足では。性別の偏りは多様性面でも適正バランスか。市民料金を設定しては。

**市長** 人数は適正。女性が多くても支障ない。料金は伊南の利用を想定したもの。

**教育次長** 現場は増員希望。





中沢区通いの場  
「ほのぼの花桃」  
駐在さんから「詐欺に  
ご注意ください」



グリーンスローモビリティ実証実験車。  
ネコバスなら人気が出るかも

**問** グリーンスローモビリティと駒ヶ根観光の相性は。  
**市長** 生活交通には不向きだが、駒ヶ根高原とは相性が良いという評価が多い。経費面に課題はあるが、事業化の仕組みを検討したい。



令和4年度予算基本方針の大きな1つ「生涯活躍のまちづくり」  
市内中心市街地・銀座通り

**問** 第5次総合計画の一年目である来年度予算を、同時に3月議会にかけるとの解釈でよいのか。  
**市長** その通りである。

**問** 協働のまちづくりを進める自治会加入促進の現状と課題は。非加入者のごみ出しステーション設置は。  
**市長** 現状の加入率は76%程度との推計。率が向上しない理由は、短期転居の増加や価値観の多様化がある。加入案内を通じてしっかりと環境を整えたい。非加入者のごみも地区の集積所にお

願いしている。対応できない場合、大田切のステーションで休日に受けている。今後、応分の負担も検討する必要がある。  
**問** 支え合い推進や生活支援コーディネーターの取り組みの現状と課題は。  
**市長** 通いの場合は、158カ所を実施され、地区の実情に応じ活発に行われている。

る。今般、厚生労働大臣優秀賞を受賞した。歴代関係者や参加者の活動が高く評価された。ただ、新たな担い手、次の世代の担い手確保が課題と受け止めている。  
**問** 保育園、幼稚園の耐震化や再整備計画および老朽化対策の進捗状況は。  
**市長** 耐震化未実施の施設は5施設ある。令和7年度までの間に対策を実施することとしており、施設の集約化・複合化、転用などにより適正配置を図る方針である。来年度中に新しいビジョンを策定したい。

**問** 来年度予算を組むに当たって、どのような基本方針を立てているか。  
まず、予算を立てるに当たっての背景は。  
**市長** ウイズコロナの時代はコロナ以前と違う新たな時代へ進んでいく。テレワークが一般的な働き方となり、ネット空間の新たな活用方法が目前的課題である。

**問** コロナ感染症対策だけでなく、市の予算の特徴は。  
**市長** 長期的な視点に立ち、新型コロナにより変化した社会に対応。新しい行財政運営に取り組む必要がある。  
**問** 具体的にどのような取り組みを予算か。  
**市長** 新型コロナウイルス感染症対応、デジタル変革の加速やグリーン社会の実

現、地方への新たな人の流れの変化などによる地方創生の推進、防災減災国土強靱化をはじめとする安心安全な暮らしの実現など。  
**問** 何の事業を優先的に実施する予算とするのか。  
**市長** 安定的で持続可能な財政運営を行い、今まで以上に既存物を見直し、DXなどの推進による効率的な行政運営、公共施設の統廃合などを積極的に進め、財政健全化を推進していく。



宮下 稔 議員

**問** 協働のまちづくりをさらに推進するには  
新たな担い手、次の世代の確保が課題



質問動画はこちらから



三原 一高 議員

**問** 来年度予算の基本方針を問う  
新たな時代へ進んでいくために編成



質問動画はこちらから



未満児の入所者数は今後も増加が考えられる



竹村 知子 議員

**問**

未満児保育の現状と課題への対応は

保育室改修や定員増の必要があり理解を



質問動画はこちらから

**問** 働くお母さんが増えている中で、未満児保育の人数の推移と今後の動向は。

兄弟、姉妹は同じ園に入れるような体制を望むが、実態と課題、対応策は。

**教育長** 未満児の入所者数は少しずつ増加傾向で、今後も増加が考えられる。兄弟で同じ園に入園できない事例は、園の定員を超えた

期発見、対応の現状は。

**教育長** 1歳6カ月健診や

申し込みがあり、各家庭の保育士必要指数の高い方から入園決定をするので、やむなく別の園になることもある。入園調整で考慮しているが、現状の解消には、保育室改修や定員増の必要があり理解をいただきたい。

**問** 発達障害の子どもの早期発見、対応の現状は。

**教育長** 1歳6カ月健診や

幼稚園・保育園へ訪問する5歳児すこやか訪問を開始し、発達支援のための教室や個別相談、医療など必要な支援につなげている。

**問** 東中学校生徒や市内高校生との語る会を通して、今後の市政に反映できる点や気づきは。

**市長** 駒ヶ根市に愛着を持つてくれている。将来を真剣に考え、どうすればアイデアを実現できるかを、考えていることに感動した。皆さんが誇りを持てるまちづくりを進めていく。

**問** 厚労省は、子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨を4月から再開するよう、自治体に通知したが、当市の取り組みは。

**市長** 上伊那広域連合を通じて医師会と協議し、4月から積極的勧奨を周知する。

から積極的勧奨を周知する。



竹村 誉 議員

**問**

原油高騰の中「福祉灯油」実現の考えは

低所得・生活保護世帯に現金を支給する



質問動画はこちらから

**問** 原油高から暖房の主力である灯油の高騰が暮らしを直撃している。高齢者など低所得者世帯と生活保護世帯などに灯油代を補助する「福祉灯油」実現の考えは。

**市長** 灯油に限らず、低所得者世帯に対する緊急支援策として、現金支給をする。

**問** 秋以降の原油価格高騰は、施設園芸農家・交通・

米価の確保を図るべきでは。

宿泊事業者などにも深刻な影響を与えている。経営を守る施策の考えは。

**市長** 緊急支援が必要と判断し、必要な対策を盛り込んだ補正予算を提出する。

**問** コロナ禍の影響もあり米価が暴落している。政府による過剰米の買い上げ、市場隔離による価格安定で、米価の確保を図るべきでは。

**市長** JAとの交渉は考えていない。買い物弱者対策は、今後の状況を踏まえた上で検討する。

**問** 子育て支援の施策の充実が不可欠だ。0歳児保育の受入れ時期の前倒しなど、保育環境拡充の考えは。

**教育長** 受け入れ可能年齢の引き下げ、施設の充実には施設改修が必要。希望ニーズなども考慮しながら、今後作成する施設整備の計画に合わせて検討する。

今後作成する施設整備の計画に合わせて検討する。

計画に合わせて検討する。



本格的な冬の到来に、灯油代の高騰は死活問題！寒い冬に立ち向かう、温かい支援策を♪





銀座通りにある、こまがね市民活動支援センター（ばとな）は、「市民活動の玄関口」「市民活動の支援の場」「市民活動に必要な情報の受発信基地」の役割を担っている

**問** 駒ヶ根郷土館（旧赤穂村役場）は、旧帝国ホテル建設にも関わった東伊那出身の伊藤文四郎氏が設計。来年は築100年を迎える。記念行事などを行う意向は。  
**教育長** 県内にも数少ない大正期の洋風建築である。現段階では記念行事など特に計画していないが、郷土館の魅力を伝え、観光面でのPRにおいても周知を検討していきたい。



市庁舎前に設置されている「人権尊重都市宣言」プレート12月10日は世界人権デーです。この機会に人権や権利擁護について考えましょう

**市長** 今の段階では、社会福祉協議会の協力を得たとしても、成年後見人の実務経験が乏しいため、市単独での市民後見人の育成は、困難だが、司法や福祉に携わる市民団体が自主的に活動している。その組織に後見人養成講座を受講する人材発掘などの協力をお願いしていく。

**問** こまがね市民活動支援センター（ばとな）は、公設民営で開設し、駒ヶ根市民活動支援協会が運営して12年が経過した。現在は、建物とJOCA（青年海外協力協会）と共用している。これからの市民活動支援センターの在り方は。  
**市長** ばとなの役割は、中間支援組織として、市民団

体同士や市民団体と行政との協働を推進し、市民活動の相談や支援、活動や交流の場の提供などの、大きな役割がある。協働のまちづくりをより良く発展させるために重要な存在である。  
**問** 農業が抱えている最大の課題に、農業従事者の高齢化と担い手不足がある。スマート農業は生産性の向

上、省力化、担い手の確保などに欠かせないと考えるが、当市における状況は。  
**市長** スマート農業を導入した場合、経営への影響や効果などの分析が必要だ。現在、自動走行機械は無人での一般道路の通行が認められていない。事業の検証や情報提供を行い、地域農業に生かしていきたい。

**問** 平成28年度に始まった、介護予防総合事業のサービスAは、60名ほどの利用者が数だったが、現在に至ってもその数は増えていない。総合事業の目的は要介護者の抑制にある。高齢者数が増加する中では、ある一定数の総合事業利用者があり、介護予防事業の目的が達成される。対象利用者が

増えない最大の問題は地区担当の保健師の人員不足にあり、介護保険の認定調査員制度などを採り入れ、その充実を図るべきだが、市長の考えは。  
**市長** 介護が必要な状態にならないためには、総合事業の利用拡大は重要であり通いの場の担い手さんなど住民と接触する機会の多い

方々に調査員となっていたり、地域の中で個人の権利を擁護しながら問題解決を図っていくには、成年後見人だけではそのニーズに答えられない。市も市民後見人の育成や活動支援に取り組むべきだが。



小原 茂幸 議員

**問** 市民活動支援センターの在り方は

中間支援施設としての役割に期待する



質問動画はこちらから



中原 茂之 議員

**問** 介護予防事業の取り組み

調査員制度などを行い充実させていく



質問動画はこちらから

## 令和3年第5回駒ヶ根市議会定例会 議案等審議結果

## ●市長提出議案

| 議案等番号  | 議 案 等 件 名                    | 採決結果 | 賛否の多少 | 付託委員会           |
|--------|------------------------------|------|-------|-----------------|
| 議案第67号 | 駒ヶ根市国民健康保険条例の一部を改正する条例       | 原案可決 | 全会一致  | 教育民生建設          |
| 議案第68号 | 令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第8号）       | 原案可決 | 全会一致  | 総務産業<br>※教育民生建設 |
| 議案第69号 | 令和3年度駒ヶ根市介護保険特別会計補正予算（第2号）   | 原案可決 | 全会一致  | 教育民生建設          |
| 議案第70号 | 令和3年度駒ヶ根市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 | 全会一致  | 教育民生建設          |
| 議案第71号 | 令和3年度駒ヶ根市農業集落排水事業会計補正予算（第1号） | 原案可決 | 全会一致  | 教育民生建設          |
| 議案第72号 | 公の施設の指定管理者の指定について            | 原案可決 | 全会一致  | 総務産業            |
| 議案第73号 | 市道路線の認定について                  | 原案可決 | 全会一致  | 教育民生建設          |
| 議案第74号 | 駒ヶ根市檜尾小屋条例                   | 原案可決 | 全会一致  | 総務産業            |
| 議案第75号 | 令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第9号）       | 原案可決 | 全会一致  | 教育民生建設          |
| 議案第76号 | 令和3年度駒ヶ根市一般会計補正予算（第10号）      | 原案可決 | 全会一致  | 総務産業<br>※教育民生建設 |

※印は関連審査を行った委員会

## ●議員提出議案

| 議案等番号 | 議 案 等 件 名            | 採決結果 | 賛否の多少 |
|-------|----------------------|------|-------|
| 議 第5号 | 駒ヶ根市議会政務活動費の交付に関する条例 | 原案可決 | 全会一致  |

## ●選任の同意

| 議案等番号  | 議 案 等 件 名                          | 採決結果 | 賛否の多少 |
|--------|------------------------------------|------|-------|
| 議案第66号 | 駒ヶ根市固定資産評価審査委員会委員の選任について（宮下兼秋氏、新任） | 原案同意 | 全会一致  |

## ●請願・陳情（全会一致で採択されたもの）

| 番号    | 件 名                                                              | 採決結果       |
|-------|------------------------------------------------------------------|------------|
| 陳情第7号 | 新型コロナウイルスの影響による米の需給悪化の改善と米価下落・資材高騰への対策を求める陳情【総務産業委員会での審査結果：趣旨採択】 | 趣旨採択（全会一致） |

賛否が分かれた議案等に対する  
会派別議員別賛否

| 賛否が分かれた議案等に対する<br>会派別議員別賛否 |                                                            | 明鏡会  |      |       | あかつき |      | 至誠会  |      |      |      |      | アルプス |      | 改進黨  |      | 採決結果 |                   |
|----------------------------|------------------------------------------------------------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------------|
|                            |                                                            | 三原一高 | 松崎剛也 | 氣賀澤葉子 | 竹村知子 | 小原茂幸 | 池上善文 | 中原茂之 | 加治木今 | 小林敏夫 | 塩澤康一 | 中島和彦 | 竹村 譽 | 池田幸代 | 宮下 稔 |      | 小原 晃一             |
| 番号                         | 件 名                                                        |      |      |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |                   |
| 陳情<br>第5号                  | 消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書提出についての陳情書<br>【総務産業委員会での審査結果：不採択】    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | —    | ○    | ○    | ×    | ×    | ○    | ○    | 不採択<br>(賛成12 反対2) |
| 陳情<br>第6号                  | 新型コロナ禍による米の需給悪化の改善と米価下落の歯止め策を求める陳情書<br>【総務産業委員会での審査結果：不採択】 | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | —    | ○    | ○    | ×    | ×    | ○    | ○    | 不採択<br>(賛成12 反対2) |

○は委員会審査結果に賛成、×は委員会審査結果に反対。なお、議長は賛否同数の場合以外は採決に加わりません。



## 子育てサークル代表者の声を聴く

### 〈教育民生建設委員会〉

- 日 時 令和3年10月6日 午前10時30分～
- 会 場 保健センター乳幼児指導室
- 対 象 子育てサークル代表者
- テーマ 子育ての悩み、困っていること  
相談窓口への希望



## 第11回 市民と議会の意見交換会を開催しました



### 〈総務産業委員会〉

- 日 時 令和3年10月11日 午後7時～
- 会 場 駅前ビルアルパ3階
- 対 象 駒ヶ根市商工会議所青年部役員
- テーマ 産業振興、観光振興、まちづくり  
活性化策について

## 商工会議所青年部の声を聴く

駒ヶ根市議会では「開かれた議会」を目指し、市民の皆さまとの情報共有や市民参加を推進し、多様な意見を集約することで、政策提言・政策立案につなげるため、意見交換会を行っています。いただいたご意見はホームページで公開しています。

スマートフォンの方は  
こちらから



保育園舎の老朽化や雨による駐車場のぬかるみ整備にお金をかけて

駐車場もあって、子どもを安心して遊ばせられる大きな公園がほしい

ロープウエー行きのバスの発着点を駅前にしては

各業種で高齢化、若者不足が進んでいる

中学校卒業までの医療費無償化を

中高生と赤ちゃんのふれあい体験を

観光は、街なかと高原の連携をもっと考えるべき

事業所での人手不足は深刻

託児付き講座の復活を

土日祝日に子育て支援センターを開所して

通学する子どもたちの安全のために、狭い道路の幅を

新たな花火大会で活性化を

学童保育の拡充を

観光施設などで子育て市民優待制度があれば、若い世代に駒ヶ根をアピールできるのでは

市内にはサッカー場がない。サッカー場の検討を

市内の公園は小さい。子どもたちや家族が遊べる魅力ある場所がほしい



子育ての悩み、困っていること

産業振興、観光振興、まちづくり活性化



ご参加いただいた皆さま、たくさんの声をありがとうございました



# 東中学校×駒ヶ根市議会 こども未来会議

## 中学生議会



最初に議会の役割や仕組みについて学習

駒ヶ根市議会では、まちづくりや議会に興味を持ってほしい、若い世代の視点で駒ヶ根市のまちづくりについて考えてほしい、地域への愛着を持ってほしいという思いから、東中学校2年生とコラボし、こども未来会議（中学生議会）の開催に向けて準備を進めています。1月に開催する本会議では中学生の皆さんが市に対して直接提案を行います。

今回、昨年11月に実施した事前学習の感想や1月25日に開催する本会議に向けて生徒さんにインタビューしました。



グループに分かれてワークショップ



小松愛彩美さん  
(まちづくり・イベントグループ)

議会本番の段取りや流れがわかった。採用されるような発表にしたい！



湯澤翠さん  
(福祉・多様性グループ)

駒ヶ根市だけでなく、世界中で困っている状況は共通しているので解決していけたらいいなと思います！



酒井紋奈さん  
(環境グループ)

まだゴールではないけれど、これからゴールに向かって、いろんな意見を出していくことで、駒ヶ根が変わっていくのが楽しみ！



北村空音さん  
(農業グループ)

農業を改めて考えてみて、駒ヶ根ってもっと良くできるのではないかと思った。色々考えてまとめられるようにしたい！



中野ことはさん(農業グループ)

楽しかった。牧場を作って、ブランド牛で知名度を上げる提案をしたい！



清水葵連さん(観光グループ)

楽しかったし、自分がこんなまちにしたいという意見も言えて、人の意見も聞けて良かった。緊張しないように頑張ります！



大沼優月さん(観光グループ)

駒ヶ根についてみんなで意見を出して語り合えたので良かった。頑張りたいです！



福澤琥生さん(教育グループ)

いろいろな意見を出せて良かった。意見をかなえてもらえるように頑張りたい！



中原大地さん(文化・スポーツグループ)

自分が思っていたことを言えたり、他の人の意見を聞いてそんな考えもあるんだと知ることができて良かったです。頑張りたいです！



松崎孔哉さん(文化・スポーツグループ)

みんなの意見を知ることができたし、改めて市の魅力を確認できて良かったです。僕たちが提案したものが実現するよう頑張りたいです！

こども未来会議(中学生議会)本会議の様子は1月25日(火)14時～エコーシティー・駒ヶ岳で生中継いたします。是非ご覧ください。

## 編集後記

輝かしい新春をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。

コロナ禍に直面した昨年、一昨年は、いろいろな動きが制限され、人との出会いやつながりの大切さを感じた年でもありました。当たり前であった常識や価値観を見つめ直すことも、これからは必要かなと感じます。

議会では新たな試みとして、今年25日に東中学校2年生とこども未来会議を開催します。生徒の皆さんとの事前学習では、ふるさとへの心を学ぶ姿勢やフレッシュな感性にとっても刺激を受けました。楽しいこども未来会議にできればと思います。

若い世代の声を聴き、新たな年も市民の皆さまに、希望と安心を届けたいと、決意を新たにいたしました。

(竹村知子)

広報広聴委員会

委員長 氣賀澤葉子  
副委員長 中島和彦  
委員 竹村知子  
委員 松崎剛也  
委員 宮下剛也  
委員 塩澤康一  
委員 池田幸一  
委員 小原晃一